

旧三江線鉄道資産利活用に関する  
検討結果報告書

平成31年3月28日

広島県三次市

## 1 検討経過について

本市では、昨年5月28日、市内20の関係機関・団体の参画により、旧三江線鉄道資産の利活用の是非に関する検討を行うことを目的とした「三次市旧三江線鉄道資産検討委員会」を設置しました。

この検討委員会では、平成30年7月豪雨の状況を踏まえながら鉄道資産の現地調査を行い、また貴社からご提供いただいた関係資料等をもとに、5回の委員会が開催され、同年11月21日に委員の総意として取りまとめられた「旧三江線鉄道資産の取扱いに関する提言」を受けました。

市においては、「提言書」を重く受け止め、その基本的な考え方に基づく検討作業を取り組み、鉄道資産の利活用について、次のとおり報告するものです。

なお、三次市議会（全員協議会及び総務常任委員会）に対しても、検討委員会における協議内容及びその後の検討経過について、適宜報告を行っています。

## 2 平成30年度末で、鉄道資産取得の意思表示を行う区間

### (1) 地域活性化・観光振興への活用

#### 旧尾関山駅周辺

##### 【基本】

三次まるごと博物館を核とした文化・観光まちづくりへの活用を図る。

##### 【活用（資産取得）範囲】

8筆 9,257 m<sup>2</sup> 資料1

##### 【活用の方向性（将来的な展望含）】

- |                                    |   |        |
|------------------------------------|---|--------|
| * 三次地区内のサブスポットとしての賑わいの場            | } | 施設活用   |
| * 鉄道資産の集約・保存（SL, 旧三江線の歴史）          |   |        |
| * 尾関山・桜土手等, まち巡り回遊ルート整備<br>(道路・歩道) | } | 敷地活用   |
| * まち巡りへの駐車スペースの確保                  |   |        |
| * 空間の利用                            | } | トンネル活用 |

##### 【活用にむけての具体化作業】

来年度「旧三江線鉄道資産利活用検討事業」として具体化作業に取り組む。

### (2) 道路改良・道路拡幅への活用

#### ア 市道関係

#### 粟屋町上荒瀬踏切周辺

##### 【目的】

歩行者等の安全確保（通学路），踏切前後の鋭角な道路法線の緩和

##### 【活用（資産取得）範囲】

5筆 1,069.12 m<sup>2</sup> 資料2

## 作木町門田地区

### 【目的】

鉄道敷地を活用して、通行の安全性を向上させる道路改良に活用する。  
(路線名－市道川毛門田線)

### 【活用(資産取得)範囲】

17筆 10,746.18㎡ 資料3

## 3 次年度へ検討期間延長の依頼を行う区間

○検討期間 － 2020年3月迄

### 粟屋町旧粟屋駅周辺

理由：活用目的・範囲の協議に期間を要するため。

### 作木町門田地区 (今回資産取得を希望する区域外)

理由：市道川毛門田線の道路改良への活用検討に期間を要するため。

### 粟屋町県道三次江津線 (未改良区間(下荒瀬～長谷))

理由：道路管理者である広島県との協議・調整に期間を要するため。

## 4 添付資料

○ 旧三江線鉄道資産取得希望箇所及び区域図 (上空写真)